



平成 30 年 7 月 12 日

各 位

上場会社名 NOK 株式会社  
代表者 取締役社長 土居 清志  
(コード番号 7240)  
問合せ先責任者 広報部部长 五十嵐 清史  
(TEL 03-6891-0191)

## 連結子会社（孫会社）間の合併に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 7 月 12 日開催の取締役会において、当社の連結子会社（孫会社）である蘇州紫翔電子科技有限公司が、同じく連結子会社（孫会社）である蘇州紫虹電子科技有限公司を吸収合併することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお本合併は当社の連結子会社（孫会社）間での合併であるため、開示事項及び内容を一部省略しております。

### 記

#### 1. 合併の目的

当社の 100%子会社である日本メクトロン株式会社の子会社である蘇州紫虹電子科技有限公司、および同、蘇州紫翔電子科技有限公司（2002 年設立）は、いずれもフレキシブルプリント基板を製造販売する子会社（孫会社）です。今般、この 2 社を合併することで経営の効率化、合理化を図るものであります。

#### 2. 合併の要旨

##### (1) 合併の日程

合併決議取締役会（蘇州紫翔電子科技有限公司）	平成 30 年 7 月 11 日
合併決議取締役会（蘇州紫虹電子科技有限公司）	平成 30 年 7 月 11 日
合併決議承認取締役会（当社）	平成 30 年 7 月 12 日
合併承認株主総会（蘇州紫翔電子科技有限公司）	平成 30 年 7 月 31 日
合併承認株主総会（蘇州紫虹電子科技有限公司）	平成 30 年 7 月 31 日
合併契約締結日（合併当事会社）	平成 30 年 7 月 31 日
合併期日（効力発生日）	平成 30 年 11 月 1 日

(2) 合併の方式

蘇州紫翔電子科技有限公司が存続会社、蘇州紫虹電子科技有限公司を消滅会社とする吸収合併方式です。

(3) 合併にかかる割り当ての内容

本合併は当社の連結子会社（孫会社）間の吸収合併であるため、株式割り当てその他の対価の交付は行いません。

(4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

### 3. 合併当事会社の概要

	存続会社 (平成 30 年 5 月 31 日現在)	消滅会社 (平成 30 年 5 月 31 日現在)
(1)商号	蘇州紫翔電子科技有限公司	蘇州紫虹電子科技有限公司
(2)本店所在地	中国江蘇省蘇州工業園区唯亭鎮双灯路1号	中国江蘇省蘇州工業園区蘇虹中路 468 号
(3)代表者の役職・氏名	董事長 石川雅昭	董事長 石川雅昭
(4)事業内容	FPC および関連製品の製造販売	FPC および関連製品の製造販売
(5)資本金	6,600 百万円	5,322 百万円
(6)設立年月日	2002 年 8 月 14 日	2018 年 5 月 09 日
(7)発行済株式数	60,000,000 株	5,322,000,000 株
(8)決算期	12 月 31 日	12 月 31 日
(9)大株主及び持株比率	日本メクトロン 53.33%	日本メクトロン 100%
	旗勝科技股份有限公司 46.67% ※1	
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	平成 29 年 12 月 31 日	平成 29 年 12 月 31 日
純資産	13,703 百万円	8,490 百万円
総資産	43,991 百万円	12,853 百万円
1 株当たり純資産	228.38 円	1.60 円
売上高	82,257 百万円	30,988 百万円
営業利益	978 百万円	-140 百万円
経常利益	835 百万円	-142 百万円
当期純利益	633 百万円	-142 百万円
1 株当たり当期純利益	10.56 円	-0.03 円

#### ※ 1

	少数持分会社の概要 (平成 30 年 7 月 12 日現在)
(1)商号	旗勝科技股份有限公司
(2)本店所在地	台湾高雄市小港区中亨街 48 号
(3)代表者の役職・氏名	董事長 早瀬弘人
(4)事業内容	FPC および関連製品の製造販売
(5)資本金	1,337 百万円
(6)設立年月日	1986 年 9 月 27 日
(7)発行済株式数	367,312 株
(8)決算期	12 月 31 日
(9)大株主及び持株比率	日本メクトロン 85.03% 台湾開得投資 12.31% 個人株主 2.66%

#### 4. 合併後の状況

(1)商号	蘇州紫翔電子科技有限公司
(2)本店所在地	中国江蘇省蘇州工業園区唯亭鎮双灯路1号
(3)代表者の役職・氏名	董事長 石川雅昭
(4)事業内容	FPC および関連製品の製造販売
(5)資本金	13,451 百万円
(6)決算期	12 月 31 日

#### 5. 今後の見通し

本合併は当社の連結子会社（孫会社）間の合併の為、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上